

『幕が上がる』

平田 オリザ／著 講談社（2012年）

とある高校の演劇部は、顧問も素人で、成績も地区大会止まりの弱小部でした。しかし、元「学生演劇の女王」である美術教師を副顧問に迎えたこと、演劇の名門校から来た転校生が入部したことで、もとい部員たちの意識が変わり、それぞれの潜在能力が目覚め始めます。そして部員たちは演劇に真剣に向き合うようになり、やがて県大会を目指し舞台に立つのでした。高校生たちが演劇にかける青春を、丁寧にもみずみずしく描いています。

『なぎなた男子！！』

天沢 夏月／著 KADOKAWA（2014年）

この小説は、廃部となった元剣道部の男子高校生たちが、新しい顧問の下でなぎなたに取り組むお話です。武蔵坊弁慶の武器として有名ななぎなたですが、現在の競技人口のほとんどは女性が占めています。目指す大会もなくマイナーな競技であるなぎなたを部員たちははじめ良く思っていませんでした。やる気なく部活動をはじめた部員たちでしたが、練習をしていく中で、次第に悩みを持つ仲間と向き合い、また自分の悩みとも向き合うこととなります。そして自分たちなりになぎなた部に価値を見出していきます。

『武士道シックスティーン』

蒼田 哲也／著 文藝春秋（2010年）

香織は父も兄も剣道家のエリート武道少女である。負けることは斬られること、と生活の全てを剣道に捧げている。香織は中学生生活最後の試合として出場した地元の市民大会で、無名の選手にあっけなく負けてしまう。負けた悔しさを忘れられない香織は、高校の部活でその選手の早苗と再会するが、勝利にこだわらない早苗にいら立ちをかくせない。

まったく性格の違う二人が衝突しながら、心を通わせ成長していく様が爽快に描かれています。

『トリガール！』

中村 航／著 角川マガジズ（2012年）

鳥人間コンテストに懸ける大学生の青春物語です。工業大学に入学した鳥山ゆきなは強引な勧誘に負け、さほど熱意のないまま人力飛行機サークル『T. S. L.』に入部する。機体の製作に強く惹かれなかった彼女は、ペダルを漕ぐパイロット班に所属することになる。やさしい圭と無愛想な坂場先輩とゆきなの3人は、パイロットになるトレーニングが始まる。100人以上の部員が1年をかけて造り上げた機体アルバトロス。部員全員の思いを込めて、飛ぶ！



『政と源』

三浦 しをん／著 集英社（2017年）

東京のY町に住む老人、国政と源二郎は幼馴染でも正反対のふたり。国政は元銀行員の真面目さが取り得の男で、源二郎はつまみ細工職人で残った髪を派手な色に染め上げた仕事以外はさっぱりダメな男である。ある日、源二郎の弟子が交際をしている女性・マミと結婚したいと言い出すが、マミの両親は大反対！なんとか弟子を結婚させてあげたいと源二郎は国政と国政の妻も巻き込んで結婚式を成功させようと奮闘する。

『ファイト！木津西高校生徒会』

本田 有明／著 河出書房新社（2014年）

本城一輝は受験日に体調を崩したため、志望していた進学校に入学できず、高校生活に何の期待もしていなかった。通うことになるとは考えてもいなかった木津西高校について何も下調べをしていなかったのも、実際に通ってみると先生も生徒もクセが強い人間が多い。授業も成り立たない学校生活で、自分ひとりで勉強しなければ大学にも行けないと悲壮感を募らせる一輝だったが、ひょんなことから生徒会長に立候補することになる。